



伊木 真由子

高齢者の移動支援

問 移動支援の充実について多くの意見を聞いているが、公共交通空白地有償運送・福祉有償運送を利用する人は、昨年度は最大利用時の半分程度になっている。本当の問題は移動支援ではなく、いろいろな交通機関を使ってまで出掛けたい所がないことではないか。目的となる生きがいづくりの場を考えることが必要だ。

答 生きがいづくりを含め、旧校区単位での協議会の設置を考えている。

一、高齢者の移動支援
二、残土投棄問題

残土投棄問題

問 宿野北区・野間峠の中腹に土地改良の名目で建設残土等が用いられている事態が見られる。宿野北区の残土は、廃棄物も混入しており大阪府から指導を受けている。今回両方の現場は同じ事業者であることがはっきりした。今後本町が残土投棄の名目で廃棄物の捨て場になることが懸念される。規制条例など何らかの対策が必要ではないか。

答 豊能町では崩落事故により条例制定している。本町でもどういふうにしていくべきか継続し検討していく。

問 宿野北区の住民は汚染土壌による健康被害など不安に思っている人もいる。環境調査を希望した場合、助成金など考えられないか。

答 心配されている住民がいる場合は、町も間に入って調整し、検査できる方向に持っていく。

公共交通空白地有償運送
福祉有償運送利用合計者数

	利用者数
平成23年度	3162人
平成28年度	1176人

一般質問



長尾 義信

地域担当職員制度の進捗よく状況

問 12月からスタートし、職員17名が5地区に配置された。地域との架け橋である地域担当職員制度の進捗よく状況を問う。

答 これまで20件程度の問い合わせをいただいている。地域の区長会に出向くなど、地域課題等について気軽に相談いただけるよう、関係づくりに努めている。

地域全体で支え合う
まちづくりの実現を!!

児童生徒の通学路等の安全対策

問 バイパス、信号機移設等の工事完了に伴う、児童生徒の通学路変更など安全確保、安全対策強化を問う。



答 通学変更については、当該地域の保護者、PTAの地域安全委員の方々に協議いただき決定した。また、今後も保護者、ボランティアの皆さんに協力いただき、警察、学校、教育委員会とともに見守り活動を行っていく。

健康寿命延伸の取組み

問 平均寿命から健康寿命延伸に向けての取組み、方向性を問う。

答 医療と介護予防の両面から進めることが必要であり、いきいき百歳体操や食生活の見直し教室などを実施している。自分の健康は自分で守る健康思想を普及、啓発にも力を入れていく。



児童・生徒の安全確保のため時間帯の通行規制等検討すべきである。

